

長岡京市
まち・ひと・しごと
創生戦略

【延長版】





まち・ひと・しごと 創生戦略

- 1 位置づけ 25
- 2 戦略実行の期間 28
- 3 戦略実行のために 28
- 4 戦略目標とプロジェクト 30
- 5 プロジェクトの内容 32
 - ① つどい・ふれあう若者交流プロジェクト 32
 - ② あんしん・わくわく子育てプロジェクト 32
 - ③ しごと・子育て両立プロジェクト 33
 - ④ とともに支えあう・あんしんのまちプロジェクト 34
 - ⑤ いろんな世代で暮らそう・住宅ストック活用プロジェクト 34
 - ⑥ 緑・水・歴史 うるおいのまちプロジェクト 35
 - ⑦ まちなか・にぎわいプロジェクト 36
 - ⑧ ぐるりと便利なまちプロジェクト 36
 - ⑨ 仕事と産業・元気アッププロジェクト 37
 - ⑩ 訪れる楽しさがみえるまちプロジェクト 38
 - ⑪ 長岡京 みんなで発見・まるごと発信プロジェクト 38

1 位置づけ

1) 背景

わが国の人口は、平成 17（2005）年に減少局面に入り、少子・高齢化によって継続的に人口減少が進む「人口減少社会」となっています。さらに、東京を始めとする大都市部に人口が集中し、地方部では過疎が進んでいる地域も少なくないという状況があります。

このままの状況が進めば、経済・租税・福祉・教育など様々な分野での負の影響が拡大し、国力の低下が急速に進むと予測されるため、国では、「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。

併せて、5年間の集中戦略「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地域の特徴を活かした自律的で持続可能な社会の創生を図るとしたところです。なお、京都府は、平成 27 年 10 月に「京都府人口ビジョン」「京都府地域創生戦略」を策定しています。



2) 法的根拠等

本市は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、国・府の戦略を勘案し、市域の実情に応じた地方版総合戦略を策定します。

3) 総合計画のもとでの「戦略」

本市では、最上位の計画として「長岡京市第4次総合計画」を策定し、人口減少時代においても、8万市民がゆとりをもって暮らせるまちを維持しつつ、豊かな水と緑の環境の保全、生活の安全と安心、地域経済のさらなる発展を図りながら、誰もがいきいきと健康に暮らせるまちを次世代に引き継ごうとしています。

基本構想に掲げた「住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京」の将来都市像の実現に向け、第1期基本計画に6つの「柱」、21の「分野」、49の「施策」を体系立て、各施策を実施していくこととしています。

これを踏まえ、「第4次総合計画」の第1期基本計画各分野の目標をベースとして、「まち・ひと・しごと創生法」が定める基本理念や、国・府が策定する戦略も勘案して、本市の総合戦略の目標を次の通りとします。



長岡京市第4次総合計画

「住みたい 住みつづけたい
悠久の都 長岡京」

〈人口フレーム〉

平成42年に人口8万人が
ゆとりを持って暮らせるまち

うるおい・環境：良質の住み心地

にぎわい・交流：多彩なにぎわい

あんしん・安全：ゆるぎない安心

長岡京市の地方創生に係る考え方

○京都大阪間の交通至便で良好な住宅都市であるものの、このまま推移すれば、一定の人口減少と都市活力の低下も予測される。

- 子どもを生み育てたいと思えるまちづくりを進める。
- 恵まれた都市環境を活かして、まちの魅力向上を図る。
- 都市施設の更新と再配置により、コンパクトシティとしての魅力を磨く。

国の地方創生の考え方

Ⅰ 人口減少問題の克服

2060年に1億人程度の人口を確保

人口減少の歯止め、「東京一極集中」の是正

Ⅱ 成長力の確保

2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度維持

◆◆◆ 勘案する国・府の総合戦略 ◆◆◆

まち・ひと・しごと創生総合戦略（国）

- <基本目標①> 地方における安定した雇用を創出する
- <基本目標②> 地方への新しいひとの流れをつくる
- <基本目標③> 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- <基本目標④> 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

京都府地域創生戦略

- <基本目標①> 京都の未来を拓く人をつくる
- <基本目標②> 地域経済を活性化させ、仕事をつくる
- <基本目標③> 京都への人の流れをつくる
- <基本目標④> 持続可能で魅力と活力のある地域をつくる

長岡京市の総合戦略のポリシー

★人口8万人のまちとしての活力を保つ

- 1 若者の夢を応援し、子どもを増やす
- 2 世代構成のバランスを安定的に保つ

★長岡京市の魅力をさらに磨き高める

- 3 良好な暮らしの環境を活かす
- 4 地域経済の好循環を生み出す
- 5 成熟都市にふさわしくまちを再創造する

4つの戦略目標

目標1 出会い・ふれあい・育てるまち

結婚・出産・子育ての希望を導き、かなえる

目標2 良質で快適な暮らしを約束するまち

すべてのライフステージでの
暮らしやすさを追求する

目標3 にぎわいと活力に彩られたまち

にぎわい・ふれあいのまちなかと、
産業の活力をつくる

目標4 魅力を創造し発信するまち

まちの魅力を発信し、交流人口をふやす

② 戦略実行の期間

戦略実行の期間は、次の通りとします。

●平成27年度から令和2年度までの6年間

③ 戦略実行のために

① パートナースhipのもとで着実に推進する

戦略目標の達成に向けて、行政がリーダーシップを発揮し、市民・産・学・金融機関・労働団体・NPO・公などの総力を結集し、パートナースhipの働きを十分に活かして取り組んでいきます。

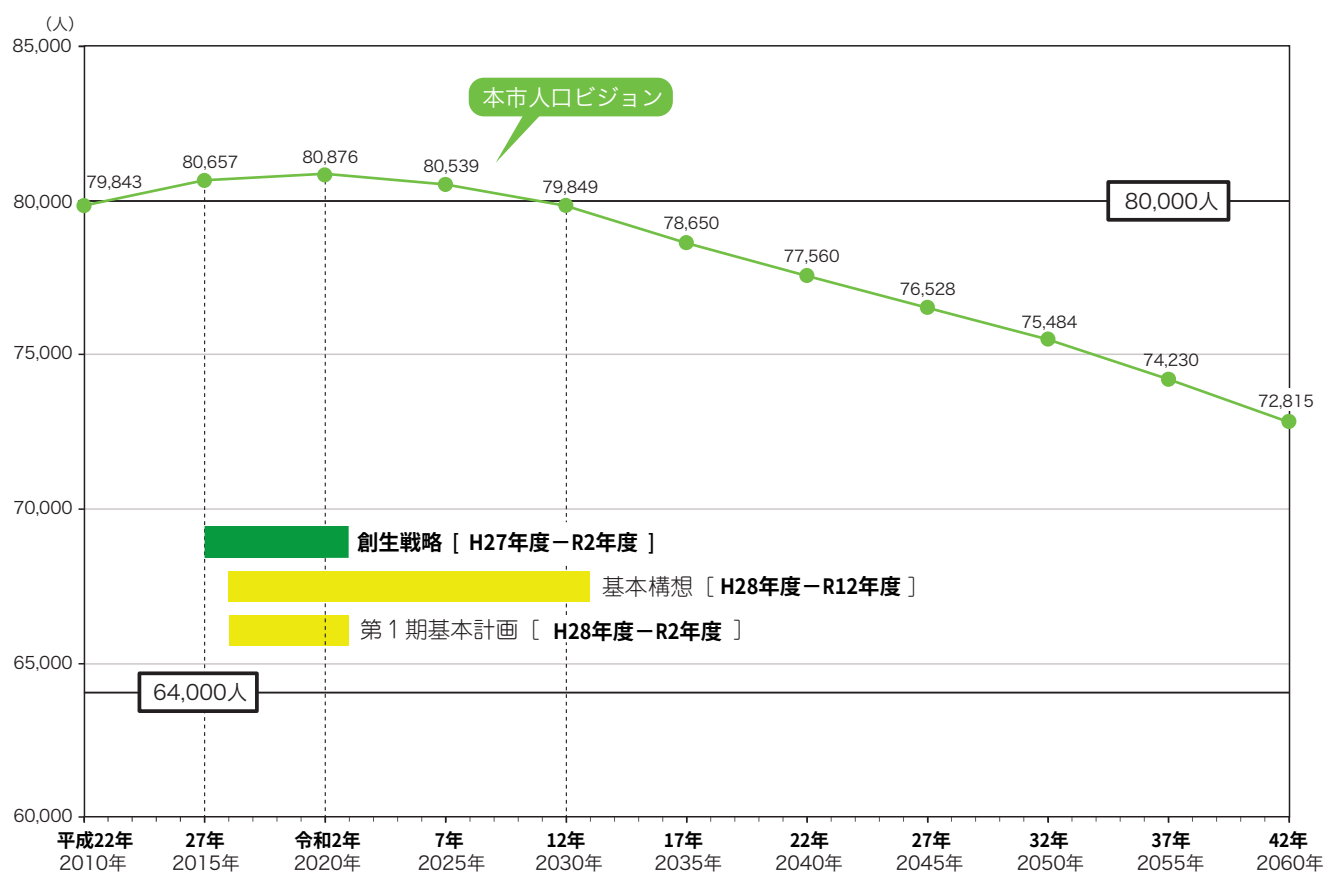
また、本市が進める地域創生は、京都・大阪間のJR・阪急沿線の地域全体としての調和を大切にし、相互の切磋琢磨によってそれぞれの都市魅力を高めつつ推進します。

② PDCA サイクルで管理する

各戦略プロジェクトは、短期・集中的に行い、戦略目標達成に向けて実効を上げる必要があることから、係る事業の実施にあっては、重要業績評価指標（KPI）を設定・活用し、適時の効果検証と不断の見直しを行います。

③ 本市の各分野のまちづくりとの相乗効果を発揮させる

地域創生は、国の方針のもとで戦略的かつ集中的に行うものですが、総合計画を始めとする、本市の各分野の計画の推進との整合を図り、最大の相乗効果が発揮されるよう努めます。

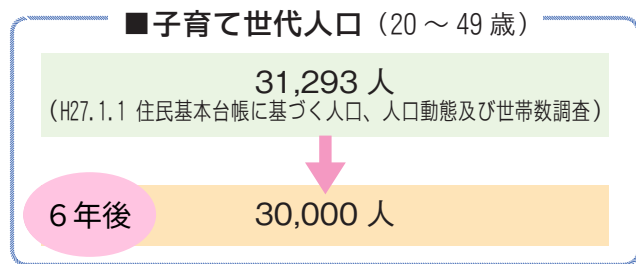
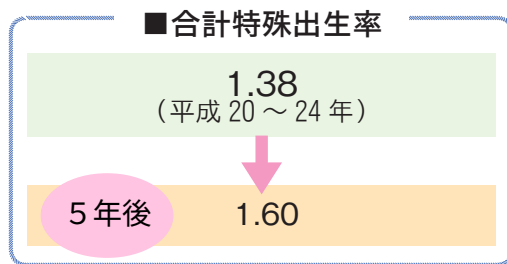


4 戦略目標とプロジェクト

目標 1 出会い・ふれあい・育てるまち

～結婚・出産・子育ての希望を導き、かなえる～

数値目標



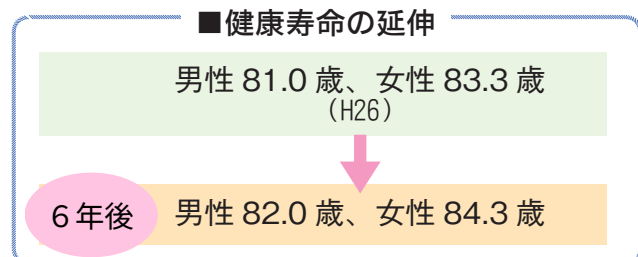
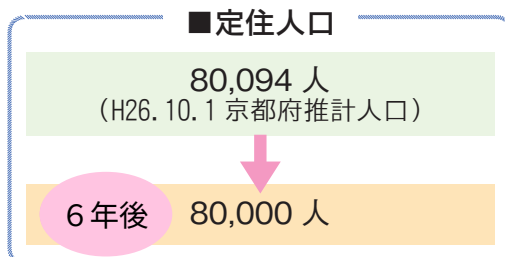
プロジェクト

- ①つどい・ふれあう若者交流プロジェクト
- ②あんしん・わくわく子育てプロジェクト
- ③しごと・子育て両立プロジェクト

目標 2 良質で快適な暮らしを約束するまち

～すべてのライフステージでの暮らしやすさを追求する～

数値目標



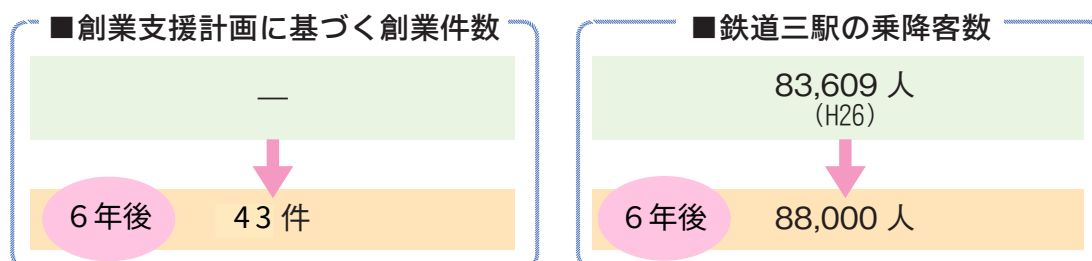
プロジェクト

- ④ともに支えあう・あんしんのまちプロジェクト
- ⑤いろんな世代で暮らそう・住宅ストック活用プロジェクト
- ⑥緑・水・歴史 うるおいのまちプロジェクト

目標 3 にぎわいと活力に彩られたまち

～にぎわい・ふれあいのまちなかと、産業の活力をつくる～

数値目標



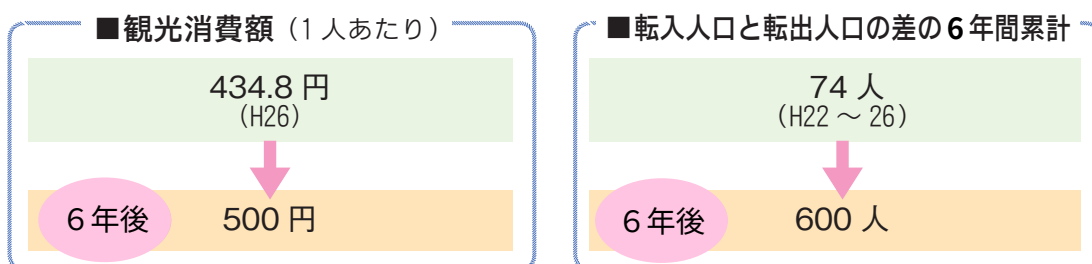
プロジェクト

- ⑦まちなか・にぎわいプロジェクト
- ⑧くると便利なまちプロジェクト
- ⑨仕事と産業・元気アッププロジェクト

目標 4 魅力を創造し発信するまち

～まちの魅力を発信し、交流人口をふやす～

数値目標



プロジェクト

- ⑩訪れる楽しさがみえるまちプロジェクト
- ⑪長岡京 みんなで発見・まるごと発信プロジェクト

5 プロジェクトの内容

■KPI：重要業績評価指標 ■期首値：平成26年度末(一部平成27年度初*) ■期末値：令和2年度末(一部令和元年度末*2)

目標 1 出会い・ふれあい・育てるまち

～結婚・出産・子育ての希望を導き、かなえる～

① つどい・ふれあう若者交流プロジェクト

方針

若者が多く集いやすい「場」をつくることで、彼らが豊かな交流を築き、出会いが広がるよう応援します。

< KPI > 大学や大学生との連携事業の数			
期首値	8 事業	期末値	16 事業
< KPI > 市民活動サポートセンター登録団体数			
期首値	135 団体	期末値	186 団体

取り組み

- ①「若者」が「1人でも」参加しやすいようイベントを工夫し、出会いの機会をつくれます。
 - ・市主催イベントの工夫
 - ・商工会イベントの支援
 - ・バンビオ賑わい創出活動の支援 など
- ②ボランティアやNPO、コミュニティの活動支援や大学との連携を通じて、若者が活動し、交流するフィールドを提供します。
 - ・大学や大学生との連携によるイベントの開催
 - ・市民活動サポートセンターの運営
 - ・地域福祉活動団体の支援 など

② あんしん・わくわく子育てプロジェクト

方針

産前から一貫した母子の健康が守られる安心をつくり、地域ぐるみで子育てを応援します。親子が一緒にわくわく成長できるような、特色ある学校教育を進めます。

< KPI > 年少人口			
期首値	11,386 人*	期末値	11,000 人 (対期首値 97%)
< KPI > 全ての妊婦の状況把握率			
期首値	98.8%	期末値	100%

取り組み

- ①「もう1人欲しい」が叶うまちにするために、子育てにかかる経済的負担を軽減します。
 - ・第3子以降の保育料等無償化のスタート
 - ・こどもに掛かる医療費助成の継続
 - ・認可外保育施設利用者に対する助成の拡充 など
- ②妊娠から出産・子育てまで一貫して支える体制を作ります。
 - ・長岡京子育てコンシェルジュの設置
 - ・子育て応援教室の普及 など
- ③グローバルに活躍できる人を育てる教育を目指します。
 - ・小学校における外国語活動の充実
 - ・中学校米国短期交換留学制度のスタート など
- ④全ての子どもの学力・体力向上を重視します。
 - ・読書活動の充実
 - ・学校での部活動の支援 など

③ しごと・子育て両立プロジェクト

方針

安心して仕事ができるよう、子どもの年齢に応じた保育基盤を整備します。
男女共同参画社会づくりをさらに推進し、とりわけ子育て期の世代について、その人が望むワーク・ライフ・バランスが選択できる社会を目指します。

＜KPI＞ 市基準による待機児童数			
期首値	15人*	期末値	0人
＜KPI＞ 中学校給食の導入数			
期首値	—	期末値	4/4校*2

取り組み

- ①働くお父さんお母さんを応援するために、待機児童を解消します。
 - ・保育所施設の整備・充実 など
- ②病児・病後児保育の充実など、多様なニーズに応えます。
 - ・病児・病後児保育施設の増加
 - ・小規模保育施設の充実 など
- ③子どもたちが、伸び伸びと遊べる安全・安心な放課後の居場所を提供します。
 - ・放課後児童クラブの充実

- ・すくすく教室の推進
- ・公園や緑地の整備 など

④中学校給食の導入と小学校給食施設の改修を進めて食育を充実し、京都府で1番満足できる給食を目指します。

- ・中学校給食のスタート など

目標2 良質で快適な暮らしを約束するまち

～すべてのライフステージでの暮らしやすさを追求する～

④ ともに支えあう・あんしんのまちプロジェクト

方針

「健康」と「安心」を守り、すべての人が楽しく暮らせる社会をつくります。
充実した保健・医療・福祉で全てのライフステージを支えます。

< KPI > 75～84歳の要介護認定率			
期首値	22.6% (1,455/6,428)	期末値	24.5%
< KPI > 認知症サポーター養成講座受講者数（累計）			
期首値	3,263人	期末値	7,200人

取り組み

- ①高齢者が活躍するオープンなコミュニティの形成を支援します。
 - ・高齢者の健康増進と生きがいづくりの支援 など
- ②介護予防と介護が必要な人と家族への支援の双方を充実します。
 - ・介護予防の充実 など
- ③市内で、安心して医療を受けられるしくみづくりを目指します。
 - ・地域医療ビジョン（長岡京市版）の策定 など
- ④すべての人が豊かに歳を重ねられるまちをつくります。
 - ・共生型福祉施設構想の策定 など

⑤ いろんな世代で暮らそう・住宅ストック活用プロジェクト

方針

山麓住宅ゾーンなどの良質の戸建て住宅ストック、とりわけ空き家について、その円滑な流動をつくり、子育てファミリー層の定着を図ります。

< KPI > 空き家率			
期首値	9.8%	期末値	10%以下 *2
< KPI > みどりのサポーター 活動団体数			
期首値	88 団体	期末値	105 団体

取り組み

- ①優良な住宅ストックを長く活用するため、高齢世帯と子育て世帯の間で住宅が循環する仕組みを考えます。
 - ・空き家対策のための条例や計画の策定 など
- ②市内での3世代同居・近居推進を検討します。
 - ・リフォーム補助の充実 など
- ③良好な住環境を守り、住宅の資産価値を維持します。
 - ・みどりのサポーター制度の促進 など

⑥ 緑・水・歴史 うるおいのまちプロジェクト

方針

西山をはじめとする自然環境の保全と活用に努めるとともに、その緑と水に抱かれた暮らしのうるおいを守ります。

歴史がもたらすふるさとへの愛着を大切にし、子ども達が大人になっても住み続けたいと思うまちをつくります。

< KPI > 西山整備累計面積			
期首値	261.68 ㌥	期末値	312 ㌥

取り組み

- ①産学民官みんなの知恵と力で西山の森を整備します。
 - ・西山の森林整備の推進 など
- ②西山で育った木材の活用を推進します。
 - ・木竹資源の利用・活用の促進 など
- ③市内にある豊かな歴史資源を活用します。
 - ・史跡等の整備と活用
 - ・中野家住宅の活用方法の検討 など
- ④緑・水・歴史の他、良好な街並みなどの市の“うるおい資源”を磨き、活用します。
 - ・景観計画の見直し など

目標 3 にぎわいと活力に彩られたまち

～にぎわい・ふれあいのまちなかと、産業の活力をつくる～

⑦ まちなか・にぎわいプロジェクト

方針

中心市街地における都市基盤整備の進行にあわせ、市の中心部にふさわしい駅周辺施設など都市機能向上の検討を進めます。

< KPI > 長岡京駅前線整備 第3工区進捗状況			
期首値	用地買収率 26.1%	期末値	工事進捗率 100% (完成)
< KPI > 新市庁舎建設事業進捗状況			
期首値	庁内組織で検討	期末値	工事着工

取り組み

- ① 阪急長岡天神駅周辺の整備計画を策定し、安全で快適なまちづくりを進めます。
 - ・ 阪急長岡天神駅の周辺整備
 - ・ 都市計画マスタープランの推進 など
- ② 市役所新庁舎と周辺地域の一体整備を進めます。
 - ・ 市庁舎建替えと周辺整備の推進 など
- ③ JR 長岡京駅エスカレーターの改修など、駅周辺の機能を維持し、にぎわいを保ちます。
 - ・ JR 長岡京駅関連施設の整備 など

⑧ ぐるりと便利なまちプロジェクト

方針

コンパクトで暮らしやすいまちの構造をさらに活かせるよう、市民ニーズと地域特性等を踏まえて、公共公益的な都市機能の配置を最適化します。

< KPI > コミュニティバスの1便当たりの乗車人員			
期首値	13.3人	期末値	15人
< KPI > 東部地域交通社会実験運行バスの1日当たりの乗車人員			
期首値	—	期末値	150人*2

取り組み

- ① コンパクトシティを推進します。
 - ・ 公共施設再編構想の策定 など

②暮らしやすさが実感できるよう交通ネットワークや道路空間を充実させ、市内移動の「便利」を高めます。

- ・地域公共交通ビジョンの推進
- ・交通安全施設の整備 など

⑨ 仕事と産業・元気アッププロジェクト

方針

企業の誘致を促進し、工業・商業・農林業が継続的・発展的に営めるよう経営指導や人材育成を進め、地域経済の活性化を図るとともに、創業を希望する人を支援し、新規創業・就労を促します。

結婚や出産をはじめ、一人ひとりが望む生活が実現できるよう、安定した職と一定水準の所得が得られることを重視し、働く意欲のある人の就労を支援します。

< KPI > 企業進出相談件数			
期首値	1 件	期末値	4 件
< KPI > 生活困窮時の支援対象者の就労・増収達成率			
期首値	—	期末値	50%

取り組み

- ①国や京都府、関係機関等と連携して、市内への企業誘致を進めます。
 - ・企業の誘致促進 など
- ②創業支援計画に基づき、女性や高齢の起業希望者が起業できる基盤を官民が一体となって作ります。
 - ・創業支援のスタート など
- ③農林産物の需要と供給のバランスや納品体制の改善を図り、地産地消を促進します。
 - ・地産地消の推進 など
- ④生活困窮時にある人をはじめ、働く意欲のある人の自立支援、就労支援を進めます。
 - ・福祉なんでも相談の充実
 - ・生活困窮者への自立支援
 - ・障がい者の雇用・就労の促進 など

目標 4 魅力を創造し発信するまち

～まちの魅力を発信し、交流人口をふやす～

10 訪れる楽しさがみえるまちプロジェクト

方針

「観光」と「農・商」の連携や近隣地方公共団体、観光関連団体等との連携により、観光入込客数や一人当たりの消費額の増加を促します。

広域交通結節点としてのポテンシャルを最大に活かして、新たな交流を生み、これを市全体の魅力向上に結びつけていきます。

< KPI > 1年間の観光入込客数			
期首値	1,256,806 人	期末値	1,300,000 人
< KPI > 道の駅的施設の設置			
期首値	—	期末値	1ヶ所 *2

取り組み

①インバウンド観光や着地型観光など、時代のニーズに即した誘客イベントを積極的に展開し、観光入込客数や一人当たり消費額の増加を促します。

- ・観光戦略プランの見直しと推進
- ・「道の駅」プロジェクトのスタート など

②地元の人でも遠くの人でも楽しめる施設を設置し、高速バス停「高速長岡京」をハブとして、広域交通を活かした交流を増やします。

- ・にぎわいと交流の拠点整備
- ・市営駐車場の利用促進 など

11 長岡京 みんなで発見・まるごと発信プロジェクト

方針

シティプロモーションのコンセプトを明確にして行政・市民・団体・企業等で共有し、一丸となって“住みたい 住みつづけたい”長岡京市の魅力を発信していきます。

< KPI > 「住みつづけたい」意向を持つ住民の率			
期首値	56.7%	期末値	70% *2
< KPI > ふるさと納税額			
期首値	1,442 千円	期末値	230,000 千円

取り組み

①シティプロモーションのコンセプトを確立し、対象者に応じた多様で適切な媒体を活用して、長岡京市の魅力を発信します。

- ・シティプロモーションの推進 など

②ふるさと納税による長岡京の応援団を増やします。

- ・ふるさと納税を活用した市の魅力発信 など

長岡京市
人口ビジョン／まち・ひと・しごと創生戦略

発行日：平成28年2月【初版】

令和 2年3月【第1回改訂版】

編集・発行：長岡京市総合政策部総合計画推進課

〒617-8501 長岡京市開田一丁目1番1号

電話 075(951)2121 Fax 075(951)5410